

- 中流の山間狭窄部においては、点在する集落の浸水や河川に並走する JR 肥薩線、国道、県道等の施設被害に加え、氾濫流による家屋倒壊や洪水流による橋梁流出などの被害も発生しました。
- また、狭窄部上流部から川辺川合流点付近にかけては堤防高を洪水位が大きく上回ったことと、地形的に急勾配であることから氾濫水が河道内の洪水と一体となって流下する等、広範囲にわたって浸水が発生しました。
- さらに支川においては本川の水位上昇により洪水が流れにくくなるバックウォーター現象により氾濫が発生するとともに、山からは大量の土砂・流木が各支川を通じて本川に流入し、家屋等の浸水被害、農業・漁業・商工業関係への被害、道路・鉄道等の交通機能の停止、流域内の河川に架かる国道・鉄道等の橋梁 19 橋の流失等が生じるなど、地域の社会及び経済に甚大な影響を与えました。



写真 国宝青井阿蘇神社の洪水痕跡

- なお、令和 2 年 7 月洪水は、青井阿蘇神社で、昭和 40 年 7 月洪水を約 1.5m 上回り、寛文 9 年洪水（1669 年）と同程度の浸水深となる歴史的洪水となりました。

- 令和2年7月豪雨の被害状況について確認したい方は[こちら](#)をご覧ください。

- なお、令和2年7月豪雨の被害状況を含む令和2年7月豪雨の検証については、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ「[第1回令和2年7月球磨川豪雨検証委員会](#)」に掲載しています。